

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの経過措置で使用できます。



(2010年ver. 1.8)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2013年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島刑 職業訓練棟A	階数	地上2F
建設地	広島市中区吉島町13番114号	構造	S造
用途地域	第2種住居地域	平均居住人員	235 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,600 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2014年11月20日
敷地面積	79,905 m ²	作成者	野村徹
建築面積	1,674 m ²	確認日	2014年11月22日
延床面積	3,244 m ²	確認者	田村正道

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	73%
③上記+②以外の	73%
④上記+	73%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 1.8	スコア = 3.4
設計の計画上特段に配慮した事項 / 自然換気窓の設置 / 高効率照明の採用によりBEI=0.35 / / ビニル床シート・せっこうボード・断熱材はリサイクル材を原材料とし、外部鉄骨柱腰部は再利用可能な押出法ポリスチレンフォーム保温材を採用している。 断熱材: 押出法ポリスチレンフォーム保温材厚25ノンフロ / 省エネ性能の向上によりLCCO ₂ 73%	設計の計画上特段に配慮した事項 / 敷地内一般車両と大型貨物車両の出入口と走行範囲の分離 自転車置場を確保することで無断放置防止に役立てる	設計の計画上特段に配慮した事項 建築基準法の25%増の耐震性を確保 主要内装仕上材の更新必要間隔の長期化 床: ビニル床シート(20年) 内壁: EP(65年) 天井: 化粧PB(30年) 給水: SUS管(C-30年) 排水: 排水用硬質塩ビライニング鋼管(C-30年) 非常用発電機回路を備え、地階・ピット内に精密機器を設置していない メタルケーブル、PHS網が備わっている /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される